

Newsletter vol.1

2024年10月17日
特定医療法人南山会

『幸せカード制度』の導入で 人財育成と職員交流の促進を目指す医療法人

「その人らしさをともに創造する」を理念に掲げ、精神科医療や福祉サービスを提供する特定医療法人南山会（本社：山梨県南アルプス市、理事長：川崎 洋介、以下「当法人」）は、日本の医療や福祉における現状と課題、また当法人の取り組みなどを紹介するニュースレターを創刊することとなりました。第1回目は、当法人が2024年8月に職員を対象として導入した「幸せカード制度」について、新制度を始めるきっかけや、仕組み、利用した職員のリアルな声などをお届けします。

2020年9月に経済産業省が発表した『持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会報告書』がきっかけとなり「人的資本経営」に注目が集まっています。「人的資本経営」は、人財という会社にとっての財産に会社が投資し、人財の価値を高めていくこと。そしてその人財を会社が大切にしていることが重要とされています。

当法人は、精神科病院や介護施設、障害者支援施設などを地域に展開している特定医療法人です。一般企業とは異なり医療、介護分野に特化した事業展開を行っていますが、職員を大切に、働きがいのある職場や働きやすい職場を作りたいという想いを以前から抱いており「人的資本経営」に強く共感していました。

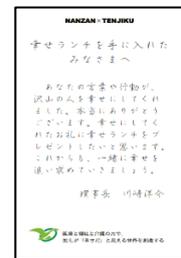
当法人においてそれを実践する第一歩として、2024年8月より【幸せカード制度】をスタートしました。



(図1 幸せカード)



(図2 幸せランチカード)



(図3 理事長からの
メッセージ)

● 制度の仕組み

当法人内の各事業・部門に法人の掲げるコア・バリュー「利他的心」「謙虚な心」「承認の心」「感謝の心」「創造の心」を記した5種類の名刺サイズの幸せカード（図1）を配布しました。そして日頃の業務を行う中で、それぞれのコア・バリューに関連した出来事があり「幸せ」と感じたら、カードの裏面に一言メッセージを添え、感じさせてくれた職員に手渡します。もらった職員は7枚集め、上司

に確認を依頼します。上司は7枚集まっていることを確認したら、幸せランチカード（図2）を手渡します。幸せランチカードを隣接する売店に持参すると、売店のカフェで無料のランチを食べることができます。ランチは理事長からのメッセージを記したカード（図3）を添えて提供されます。

● 制度スタートの背景・目的

当法人が【幸せカード制度】をスタートした背景には複数の目的がありました。

① 5つのコア・バリューの職員への浸透

当法人は2024年4月、5つのコア・バリューを定めました。これは当法人の川崎が理事長に就任した2022年4月から毎月職員に伝えていた「南山会フィロソフィ」という人としての哲学をまとめた価値観で人財育成における指針ですが、残念ながら日々の業務の中でそれらの文字を目にする機会は少なく、意識する機会はありませんでした。幸せカードを配布し、互いに手渡しあうことで、日常的な業務の中でも常に価値観を意識できるようにしたいと考えました。

② 職員交流の促進

日々の業務の忙しさに追われていると、改まって同僚に感謝の言葉を伝えたり、賞賛の言葉を送ったりすることは多くありませんし、面と向かって伝えることは気恥ずかしさもあります。しかし幸せカードがあれば、気持ちを素直に伝える良いきっかけとなります。また、あまり接したことのない職員であっても、カードを渡すことで会話をするきっかけになるかもしれません。

③ 賞賛文化の醸成

医療機関や介護施設は、高信頼性組織と言われ、失敗が許されない過酷な条件下で常に活動しなければなりません。そうすると自然と「失敗のないように悪いところを見つけて正そう」という風土になってしまいます。そこに幸せカードがあれば「良いところを見つけて褒めよう」という人を賞賛する文化が生まれ、心理的安全性の高い職場環境にしていけるのではないかと考えました。

上記のようにコア・バリューを意識した付加価値の高い人財を育成すること、職員交流を促し、働きやすく、働きがいのある職場環境を作ることを目的に幸せカード制度をスタートしました。そして、この取り組みを通して、職員が生き生きと働くことができるエンゲージメントの高い職場環境を醸成できると考えました。

● 幸せランチカードを受け取った職員へのインタビュー

2024年9月26日、当法人内で初めて幸せカードを7枚集め、幸せランチカードと交換できた職員が現れたというニュースが飛び込みました。栄えある一番乗りの職員に受け取った感想などを聞きました。



輿水陽さん 所属：精神科急性期治療病棟（以下、A病棟）

Q. 今回、法人内で初めて幸せカードを7枚集めて、幸せランチカードをもらえました。感想を教えてください。

A. 色々な人に感謝してもらえている実感が湧いて、とても嬉しかったです。

Q. 多くの幸せカードをもらえたのは、多くの職員から感謝されている証だと思うのですが、普段の仕事で同僚たちと接する時、どのようなことを意識されていますか？

A. どんな話であっても、常に同僚の話をよく聞き、対話することを大事にしています。そういったところを多くの同僚に見てもらえたことが、今回の幸せカードにつながったのかな、と思います。

Q. 無料のランチにはいつ頃行かれる予定ですか？

A. 「これは！」という好きなメニューを見計らって、行きたいと思っています。メニューを見てワクワクしています。

同僚から頂いた幸せカードを見せてもらいました。裏面の一言メッセージの欄には、多くの感謝の言葉が書かれており、輿水さんが日頃から素晴らしい仕事をされていることが、とてもよく伝わってきました。暖かい言葉に触れて、見せてもらったこちらも、とても嬉しく思いました。

● 代表者コメント



特定医療法人南山会
理事長 川崎 洋介

当法人のパーパスである『医療と福祉と介護の力で、誰もが「幸せだ」と思える世界を創造する』ために始めた幸せカード制度ですが、開始から2ヵ月で早くも7枚の幸せカードをもらい、幸せランチカードを手に入れた職員がいることをとても幸せに思います。

職員は医療や介護という過酷な現場で本当に大きなストレスの中で一生懸命働いてくれていると思います。そうした中で、人を幸せにすることができて、そして幸せにしてくれる人を賞賛できる職場で、みんなに幸せに働いていてもらいたいと思っています。

これからも沢山の幸せカードが行き交い、幸せで満ち溢れる世界にしていきたいと思います。

■ 会社概要

- 【社名】 特定医療法人南山会
【設立】 1957年7月2日
【代表】 理事長 川崎 洋介
【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
【事業内容】
精神科病院 峡西病院
障害者地域活動支援センター きがる館
訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション
介護老人保健施設 峡西老人保健センター
就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム
【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

<お問い合わせ先>

特定医療法人南山会

TEL : 055-282-2151 (代表) 055-244-7715 (直通) FAX : 055-284-4886

担当 : 川口